

## レベル1 非破壊試験技術者の活用のお願い

一般社団法人 日本非破壊検査協会 認証事業本部

(一社) 日本非破壊検査協会における非破壊試験技術者の認証資格を様々な工業分野においてご活用いただき、誠にありがとうございます。

さて、検査実務現場において、レベル3技術者及びレベル2技術者を要請されるケースが多くなってきております。一方で、レベル1技術者でも十分に対応可能な業務(下記「レベル1資格保持者が雇用主から与えられる作業許可」参照)もございます。そのことから、発注者側の皆様、請負者側の皆様におかれましては今一度レベル1技術者の活用をご検討いただきますよう宜しくお願い申し上げます。(「[非破壊試験業務における資格レベルの適正な運用について](#)」参照)

また、レベル1技術者資格は、非破壊試験技術者資格の中では身近な目標設定となる資格であり、NDT方法ごとの非破壊試験の基礎を身につけ、レベル2、レベル3へと確実にステップアップするための位置づけとなっています。次にレベル1技術者資格についてご紹介します。

### ◆レベル1 資格保持者が雇用主から与えられる作業許可 (JIS Z 2305:2013「6 資格レベル」6.1参照)

レベル1の認証を受けた個人は、指示書に従って、かつ、レベル2又はレベル3技術者の監督の下でNDTを実施する力量を実証している。雇用主はレベル1技術者に、資格証明書に明記された力量の範囲でNDT指示書に従って次の項目を実施する許可を与えてもよい。

a)NDT装置を調整する。

b)NDTを実施する。

c)記載された基準に従ってNDT結果を記録し、分類する。

d)結果を報告する。

レベル1の認証を受けた技術者は、使用するNDT方法若しくは技法の選択又はNDT結果の解釈について責任を負ってはならない。

### ◆レベル1 資格試験を受けるための最小限の訓練時間 (他のレベルに比べ訓練時間が短い)

表 最小限の訓練要求 (抜粋)

NDT方法	レベル1	レベル2	レベル3	備考
RT (放射線透過試験)	<u>40時間</u>	80時間	40時間	*レベル1資格非保持者がレベル2資格試験を受験する場合、レベル1とレベル2の合計の訓練時間を満たさなければならない。 *レベル3を受験申請するにはレベル2資格を保持していなければならない。
UT (超音波探傷試験)	<u>40時間</u>	80時間	40時間	
MT (磁気探傷試験)	<u>16時間</u>	24時間	32時間	
PT (浸透探傷試験)	<u>16時間</u>	24時間	24時間	
MY (極間法磁気探傷検査)	<u>8時間</u>	16時間	---	
PD (溶剤除去性浸透探傷検査)	<u>8時間</u>	16時間	---	

### ◆レベル1 資格試験合格後の資格認証を得るための経験期間 (他のレベルに比べ経験期間が短い)

表 工業に関わる最小限の経験 (抜粋)

NDT方法	レベル1	レベル2	レベル3	備考
RT (放射線透過試験)	<u>3か月</u>	9か月	18か月	*レベル1資格非保持者がレベル2資格の認証申請をするためには、レベル1とレベル2の合計の経験期間を満たさなければならない。 *レベル3の経験は、技術専門学校又は認定された単価大学又は総合大学で少なくとも2年の工学又は科学を履修した申請者の最小限の経験を示す。該当しない場合、経験期間は2倍となる。
UT (超音波探傷試験)	<u>3か月</u>	9か月	18か月	
MT (磁気探傷試験)	<u>1か月</u>	3か月	12か月	
PT (浸透探傷試験)	<u>1か月</u>	3か月	12か月	
MY (極間法磁気探傷検査)	<u>1か月</u>	2か月	---	
PD (溶剤除去性浸透探傷検査)	<u>1か月</u>	2か月	---	

- ・既に特定のNDT方法の非破壊試験技術者にあつては、他のNDT方法のレベル1資格を取得することで非破壊試験技術者としての幅を広げることができます。
- ・レベル1資格を取得し、レベル1資格保持者として経験を積んで、レベル2資格へのキャリアアップに役立ててください。

以上